

OST(オープンスペーステクノロジー)を開催しよう！

OSTとは？

参加者にとって重要なテーマや課題について、参加者自らが議題をあげ、主体的に話し合いを行う手法。

議題も話し合いを行うメンバーも、進め方もほぼ自主性に任せる手法であるため、**参加者の当事者意識が高まり、納得できる合意に到達できるように設計されている**ところが最大の特徴です。

どんなときにやるの？

- ✓ テーマや課題について**視点**を広げたり、**洞察**を得たい
- ✓ 組織的な**課題を扱いたい**とき
- ✓ **インフォーマルな関係づくり**をしたい
- ✓ 参加者の**当事者性**を高めたい

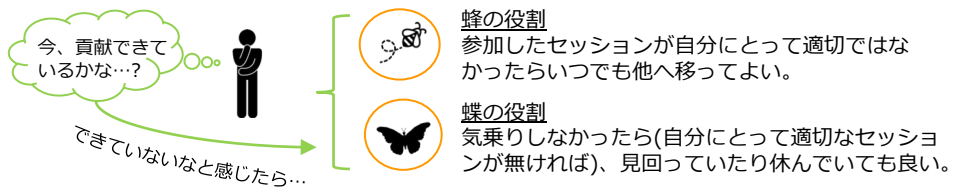
皆でXXについて話し合いたいです。

など、ある程度の関係性が出来ている段階で、主体性やコミットメントがある事柄を話し合うのに向いています。



進め方の原則

OSTでは**どのように時間を使うかを自分自身で考えながら行動する**という「移動性の法則」があります。今、この瞬間自分自身が学べていなかったり、貢献できていないと感じた場合、別の場所に移ったり、参加せず見回っていても良いです。



4つの原則

- ◇ここにやってきた人はだれもが適任者
- ◇何が起ころうと、起こるべきことが起きる
- ◇始まるべき時に始まる
- ◇終わるべき時に終わる

開催の準備

どのような流れで行うか決め、当日の空間づくりの準備をします

開催のプロセスデザイン

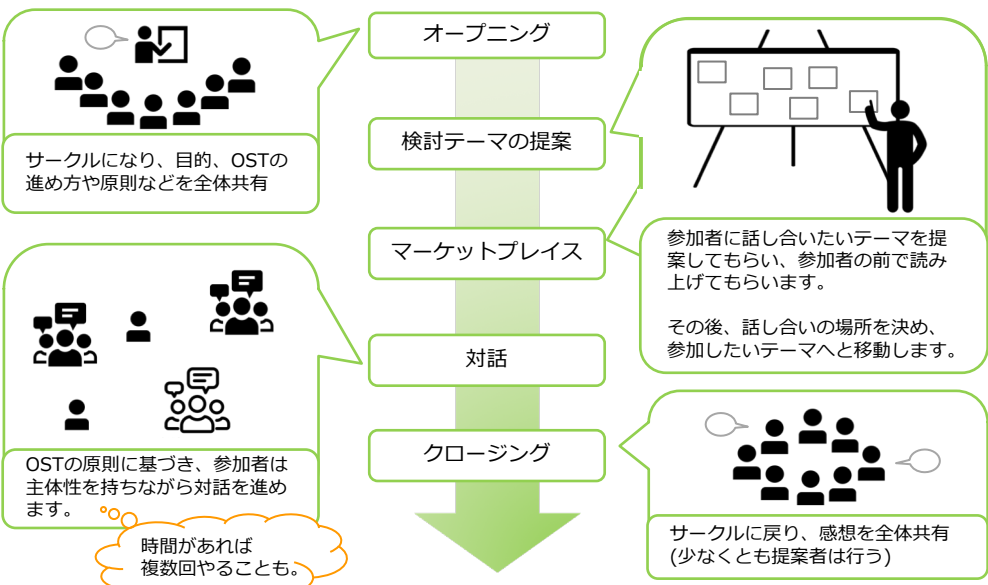
- ✓ 時間配分とテーマ数、話し合う回数を決める
- ✓ 当日の進め方を考える(複数ホストの場合は役割分担を)
- ✓ 参加者のレディネスを高める*方法を考え、当日に備えておく

当日の空間づくり

- ✓ 会場レイアウト
どの場所でのテーマが話し合うか
- ✓ A4の紙、ペンの準備(真ん中に置いておく)
- ✓ 方針や原則を書いておく
- ✓ お菓子・飲み物
- ✓ その他テーブルを飾る小物・BGM

OSTの流れ

標準的な流れは下記の通りです。(時間をしっかり確保できる場合は、対話の後にプロジェクトの提案→実行チームの編成、と話し合った内容を更に前に進めるプロセスを取り入れることもあります。)



ホストするときのポイント

参加者が「今この瞬間」を大切に、**テーマについて情熱を責任を持って参加すること**がOSTが成功するための条件と言えます。(=テーマについて関心が低く、受け身な参加者ばかりの場合は機能しづらい) よって、参加者がテーマに関心があり、主体的に何かしたいと思っていることが大切です。

*参加者のレディネスを高める工夫

- ・ テーマを明示の上、参加者を募集する
- ・ テーマに関連する情報収集や意識づけの宿題を与えたり、事前にSNSで情報交換する
- ・ OSTの前にワールドカフェなど、別の手法でテーマに関する理解と関心を高める

当日は参加者へ流れとOSTのグランドルール(方針・原則)をしっかり伝えましょう。テーマを出した人には「なぜそのテーマを出したのか」「テーマにどのような想いがあるのか」を皆の前で話してもらおうと良いでしょう。